



TITLE:

<記事>6.研究報告抄録

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>6.研究報告抄録. 瀬戸臨海実験所年報 2006, 19: 20-21

ISSUE DATE:

2006-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179052>

RIGHT:

6. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) 第 40 巻 3/4 号が 2005 年 12 月 25 日に発行された。掲載論文 7 篇, 総頁数 209 頁。

- 論文 1. Kawamura, M. & Kubota, S.: Two species of *Koellikerina* medusae (Cnidaria, Hydrozoa, Anthomedusae) from Japan. [河村真理子・久保田 信: 日本産 *Koellikerina* 属 2 種 (刺胞動物, ヒドロ虫綱, 花クラゲ目)]. 和歌山県田辺湾で採取された新種 *Koellikerina bouilloni* および鹿児島県口永良部島で採取された日本初記録種 *K. constricta* (Menon, 1932) について記載した。また, 1977~1989 年にパプアニューギニアで採取され, *K. constricta* とされた標本を再検討し, *K. bouilloni* に属するものと結論した。(121-130 頁)
- 論文 2. Brinckmann-Voss, A., Arai, M. N., & Nagasawa, K.: *Leuckartiara acuta* (Hydrozoa, Anthoathecatae, Pandeidae), a new species from the Pacific. [一・一・長澤和也: 太平洋産新種 *Leuckartiara acuta* (ヒドロ虫綱, Anthoathecatae, エボシクラゲ科)]. 北太平洋北部亜熱帯海域および亜寒帯海域で採取された標本に基づき, 新種 *Leuckartiara acuta* を記載した。また, 1933 年に同亜熱帯海域で採取され, *L. gardineri* とされた標本を再検討し, 同新種に属するものと結論した。(131-139 頁)
- 論文 3. Yamaoka, T.: On fourteen monostiliferous hoplonemertean from the Izu Peninsula, middle Japan. [山岡貞一: 伊豆半島産単針紐虫の 14 種について]. 山岡氏の遺稿である 1939-40 年に採集の伊豆下田産の英文報告。4 新種は日本動物図鑑 (北隆館, 1947) と新日本動物図鑑 (北隆館, 1965) に和文で記載された後に英文で 2001 年に発表された。ヤジロベヒモムシは 1952 年, マダラヒモムシは 1951, 52, 54, 57 年に本遺稿とは別に岩田により報告された。また, ヤジロベヒモムシ *Amphiporus formidabilis* は岩田により 1954 年にシノニムとして *A. cervicalis* (Stimpson, 1857) とされた。14 種のうちの 3 種は日本の動物相に新たに加えられた。しかし, 他の 5 種は種名の確定をしていないままの記載である。(141-158 頁)
- 論文 4. Adrianov, A., Malakhov, V. and Mayorova, A: Microscopic anatomy of the tentacles of *Thysanocardia nigra* Ikeda, 1904 (Sipuncula) from the Sea of Japan. [一・一・一・一: 日本海産クロホシムシ (ホシムシ類) の触手の微細構造]. クロホシムシの微細構造の研究の一環として本研究を実施した。生体での観察をはじめ, 走査電子顕微鏡や組織学的手法を用いて微細構造を観察して記載した。(159-169 頁)
- 論文 5. Kobayashi, T. & Ishimaru, S.: A new species of *Moolapheonoides* (Crustacea: Amphipoda) from Sagami Bay, Japan. [小林貴彦 & 石丸信一: 相模湾産 *Moolapheonoides* 属の一新種]. 相模湾の潮間帯転石海岸から *Moolapheonoides* 属の一新種 *M. acutifalcatus* を記載した。本新種は, この属の北半球における初記録である。(171-177 頁)
- 論文 6. Budonikava, L.L.: Two new species of *Psammonyx* and the identity of the genus *Wecomedon* (Amphipoda, Gammaridea). [一: *Psammonyx* 属の 2 新種と, *Wecomedon* 属と *Psammonyx* 属の同一性]. サハリン沿岸からの標本に基づき, *Psammonyx* 属の 2 新種を記載した。本論文で記載された *P. kurdriaschovi* は, *Wecomedon* 属と *Psammonyx* 属の中間的な特徴を示し, *Wecomedon* 属は *Psammonyx* 属のシノニムと見なされた。(179-197 頁)

論文 7 . Honma, Y., Ushiki, T., Takeda, M. and Kubota, S.: Histological studies on some organs of two male dealfishes, *Trachipterus ishikawae*, caught on the beach of Shirahama, Wakayama Prefecture, Pacific coast of Japan. [本間義治・牛木辰男・武田政衛・久保田 信：和歌山県白浜町海岸で採捕された雄サケガシラ 2 尾の臓器に関する組織学的研究]. 2004 年 1 月と 4 月に白浜町で採取した全長 2.30m と 1.65m 個体のホルマリン固定標本の臓器の切片標本の組織像を所見し，精巢の著しい退縮・硬化を確認し，放精後の老衰ないし衰弱個体で次の生殖への関与が難しいと推測した．（179-197 頁）